

あさひむら **議会だより**

2015.7.31



小学校音楽会 6月26日 「しっかり歌えた一年生」



目 次

- 議会も新たな体制で
新議長挨拶／新議員紹介 …………… 2
- 議会議決事項の概要 …………… 3
- かたくりの里起工式 …………… 5
- 一般質問 ここが知りたい …………… 6
- 議会構成 …………… 10
- 議会活動日誌／村民の声／議員ボランティア ……12

「議会だより」第17号 発行日／2015年7月31日

発行／朝日村議会 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字小野沢296-5 TEL 0263-99-2001(代) FAX 0263-99-2745
印刷／川越印刷株式会社 Eメール gikai@vill.asahi.nagano.jp

議会も新たな体制で

議長 清沢 正毅

暑中お見舞い申し上げます。村民の皆様にはますますご健勝の事とお慶び申し上げます。



さて、私たち朝日村議会は4月の議会議員一般選挙におきまして、議員の構成が刷新されました。ご承知のように10名の議員の内5名が新人議員となり、中には30代の若手議員そして初めてとなる女性議員も加わり、育った時代や環境の違いから、物の見方考え方も多面的で議員同士も良い刺激を受け、色々な課題に対してとても活発な議論が交わされ、議会の雰囲気も大変活性化していると言っても過言ではありません。

こうした新しい議会体制で6月の定例議会に望み、結構緊張しながらも議員の思い思いの一般質問を首長や村当局に投げかけ、それぞれに行政執行の姿勢を伺うことができました。

今まさに国は安全保障関連法案の成立に躍りになっており、世論はもっと慎重な審議をはかり国民に理解を求めるべきであると訴えております。しかしながら地方自治においては当面の大きな課題は「まち、ひと、しごと創生法」に基づく人口ビジョンを含めた「朝日村創生総合

戦略」の策定であります。朝日村が将来に渡っても確実に朝日村として存在し続けるための重要な計画であります。

議会といたしましてもいつまでも初心に浸っている事なく、議会の機能そのものを「総合戦略研究会」的な位置づけとし、議員各位がさらに自己研鑽に努め、村行政とタイアップしながら村民の皆さんが将来安心して生活のできる朝日村づくりを注いで参る覚悟であります。

まだまだ軟弱な議会であります。村民の皆さんの代表としての責任と役割を基軸として期待される議会活動に取り組んで参りますので、今後とも村民の皆さんの温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議長・総務産業

副議長・社会文教・議会運営

議会運営委員長・社会文教

総務産業委員長・議会運営

社会文教委員長・議会運営

監査・社会文教副委員長

総務産業副委員長

総務産業委員

総務産業委員

社会文教委員

清沢 正毅

小林 弘幸

齊藤 勝則

上條 昭三

林 邦宏

高橋 廣美

塩原智恵美

中村 賢郎

北村 直樹

上條 俊策

議会の議決事項の概要

～ご意見・要望は下記まで～
E-mail gikai@vill.asahi.nagano.jp

平成27年第2回臨時議会

(平成27年5月)

◆議事

○ 正副議長・各委員会選挙、各委員会の委員選出

◆議案第四十号

(専決処分の承認)

○ 朝日村税条例等の一部を改正する条例(全員賛成 承認)

◆議案第四十一号

(専決処分の承認)

○ 朝日村国民健康保険税条例の一部を改正する条例(全員賛成 承認)

◆議案第四十二号

(専決処分の承認)

○ 平成26年度朝日村一般会計補正予算(第6号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ52,417千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ3,268,597千円とする。(全員賛成 承認)

◆議案第四十三号

(専決処分の承認)

○ 平成26年度朝日村下水道特別会計補正予算(第6号)について

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ321千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ369,019千円とする。(全員賛成 承認)

(全員賛成 承認)

◆議案第四十四号

(専決処分の承認)

○ 平成26年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第6号)について

地方債の歳入200千円減額の補正をする。(全員賛成 承認)

(全員賛成 承認)

◆議案第四十五号

○ 監査委員の選任につき同意を求めるところについて

上條 孝也 芦の久保
高橋 廣美(議員選出)

(全員賛成 同意)

◆議案第四十六号

○ 教育委員会委員の任命につき同意を求めるところについて

中村 八重美(下洗馬)

(全員賛成 同意)



平成27年第2回定例議会

(平成27年6月)

◆議案第四十七号

○職員等の旅費支給条例の一部を改正する条例について
車賃・日当等の明確化を図る。
(全員賛成 可決)

◆議案第四十八号

○朝日村新たな出産祝金支給条例の一部を改正する条例について
(全員賛成 可決)



第3子以降の新生児は1人につき30万円を支給する。
(全員賛成 可決)

◆議案第四十九号

○朝日村介護保険条例の一部を改正する条例について
第1号被保険者についての保険料の減額賦課に係る平成27年度から29年度までの各年度における保険料率は、同号の規定にかかわらず、26,460円とする。
(全員賛成 可決)

◆議案第五十号

○平成27年度朝日村かたくりの里建設・改修工事請負契約の締結について
一般競争入札で、松本土建・清沢土建特定建設工事共同企業体が324,000千円で落札し請負契約に至る。
(全員賛成 可決)

◆議案第五十一号

○平成27年度朝日村一般会計補正予算(第1号)について
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ224,181千円を追加し、歳入歳出

予算の総額に歳入歳出それぞれ2,877,481千円とする。
(全員賛成 可決)

◆議案第五十二号

○平成27年度朝日村介護保険特別会計補正予算(第1号)について
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,097千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ478,747千円とする。
(全員賛成 可決)

◆議案第五十三号

○平成27年度朝日村簡易水道特別会計補正予算(第1号)について
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ137,506千円とする。
(全員賛成 可決)

◆議案第五十四号

○平成27年度朝日村下水道特別会計補正予算(第1号)について
既定の歳入歳出予算の総

額から歳入歳出それぞれ1,017千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ379,783千円とする。
(全員賛成 可決)

◆議案第五十五号

○平成26年度辺地対策事業村道針尾19号線道路改築工事変更請負契約の締結について
平成26年7月24日締結した請負契約について、工期を35日間延長することによる。
(全員賛成 可決)

◆議案第五十六号

○朝日村特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について
随意契約により、日本下水道事業団に75,000千円(平成27、28年度)の建設工事の委託を行う。
(全員賛成 可決)

◆発議第2号(議員発議)

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
議員報酬の月額を内外の情勢

に鑑み10%削減から5%削減にする。

(全員賛成 可決)

◆発議第3号

(総務産業常任委員会に付託
議員発議)

○「安全保障関連法」案の慎重 審議を求める意見書について

現在国会で審議中の「安全保障関連法」案は、国民の声を真摯に受け止め、慎重審議を行い、国会での強行採決は避け、広く国民の合意を形成するように要請する。

(全員賛成 可決)

◆発議第4号(総務産業常任委 員会に付託 議員発議)

○TPPに関する国会決議の実 現を求める意見書について

TPPは農業に壊滅的な影響を与えると危惧され、政府が目指す農業・農村の所得増大や地方創生と逆行している。国民の「食」と「いのち」と「くらし」に関わる事項を定めた衆参農林水産委員会決議の実現を要請する。

(全員賛成 可決)

◆発議第5号(社会文教常任委 員会に付託 議員発議)

○「義務教育費国庫負担制度」の 堅持を求める意見書について

義務教育費国庫負担制度において、国の財政状況を理由に費用の負担割合を2分の1から3分の1に引き下げ、地方財政を圧迫して十分な教育条件整備に地方格差拡大が懸念される。負担率を2分の1に還元することを要望する。

(全員賛成 可決)

◆発議第6号

(社会文教常任委員会に付託
議員発議)

○年金積立金の専ら被保険者の 利益のための安全かつ確実な 運用に関する意見書について

6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活し、年金は生活保障の柱となっています。政府は年金の管理運用にリスク性の高い資産割合を増やす運用を管理運用独立行政法人に求めています。年金積立金は日本経済への貢献が目的でなく被保険者の利益のために運用を図る事を要望する。

(全員賛成 可決)

◆閉会中の継続審査及び調査の 申し出について

一 事件

○議会運営委員会

① 議会運営委員会の所管事務
に関する事件

② 議長の諮問に関する事件

○総務産業常任委員会

① 総務産業常任委員会の所管
事務に関する事件

○社会文教常任委員会

① 社会文教常任委員会の所管
事務に関する事件

二 期限

○次期定例会開会まで

かたくりの里増改築起工式

築20年経過で老朽化と福祉ニーズの多様化に伴い、手狭となってきた村の福祉拠点「かたくりの里」

のデイサービスセンターの新築と既設デイサービスセンターの改修工事の安全祈願祭と起工式が6月24日、新築予定地で執り行われた。

高齢化に対応出来るようデイサービスセンターには最新の入浴施設が導入され、年末使用開始を目指します。

既存施設は新築デイサービスセンター完成後、福祉コミュニティの拠点施設に改修される。

村民の皆様が超高齢化社会で、「自助、互助、公助」の発揮できる生活環境の場になることを期待したいと思います。

林 邦宏



一般質問

ことが知りたい



森林資源活用による地方創生について

高橋 廣美

問 国の「まち・ひと・しごと創生法」にもとづき、朝日村版の総合戦略の策定が求められている。当村においては、人口減対策等すでに先取りをしております。国にその効果が現れようとしている。国に提出する策定は提出期限も迫っており、的の絞れない結果となるのが危惧される。当村においては、村の森林資源に目を向け、その資源の有効利用を重点施策に捉えたらどうか。また、昨年20～30代の若い世代に「田園回帰」の動きがあると聞く。「森の中のしごと」の創出をし、都会から若者と呼んではどうか。

村長 人口急減対策は国と地方が一体となって進める必要がある。朝日村の森林資源の活用により、山林を林業として、また森林セラピー等憩いの場として利用する方法がある。朝日村らしさを生かすべく今後の総合戦略に反映させたい。田園回帰については、地域おこし協力隊の志望動機でも分かるように半数以上が地域活性化の役に立ちたいという志を

持っている。このことを考えても都会の若者を如何に呼ぶかの議論は必要だ。

新役場庁舎を中心とした周辺施設について

問 庁舎本体その機能については、ワンストップで従来より住民サービスの向上が図られ、職員のモチベーションも上がり効率の良い業務ができるでしょう。しかしながら、一般村民から見れば年に数回しか来庁しない「建物」ではないのかもしれない。新庁舎周辺に村民の立ち寄りやすい、生活用品、食料品等の販売所、村の野菜や特産品の販売所等の設置が必要と考える。JA朝日、郵便局、商工会等関係団体との協議も踏まえ検討すべきと考える。

村長 役場庁舎については現在、庁舎建設委員会にて検討中であり、建設候補地も決まったので、ご質問の件はA T M、駐在所も含め検討されるものと理解をしている。



副村長不在について

中村 賢郎

問 不在になって九年目に入っている副村長制度についてお考えを聞きました。まず、副村長という制度の必要性についてのご認識について、次に副村長不在という現状は臨時的体制ですが、いずれは本来の型に戻すという事についてのお考えについて聞きました。最後に統一選挙で当選された後、一部のマスコミに対して、副村長を置くことに前向きとされるお考えを示されましたが、結果的に不在に至った理由と、今後四年間計十二年間は副村長不在という事態が続くというご判断なのかお聞きしました。

回答は次の通りです。 村長就任時の平成十九年の朝日村が置かれていた厳しい財政状況を考慮した中で、副村長を不在として行政の運営を図って現在に至っている事、又運営にあたっては職員には、行政のプロとしての自覚を求め、その能力の發揮に期待し現在に至っており、状況は良くなっているとの判断が示されました。その様な中で熟慮を重ねた結果引き続き副村長を不在とする事にした旨の回答でした。

新規住宅団地造成について
問 今、朝日村の大きな課題の一つ

である人口減少問題に対処する為の、新規住宅団地の造成又、村営住宅の建設についての今後の予定等について聞きました。まず、現在販売中の向陽台団地も残り一区画となり、順調な状況との報告の中で、是非機会を見て購入者の皆様にアンケート調査を依頼し、良かった事・あるいは不満な事等精査して、今後にかかす様要望しました。また、第二期の向陽台住宅団地分譲予定の有無について聞きました。その他、今後の取組みについて立地条件の調査・村営住宅においても低価格で提供する事が可能かどうか、また上組以外の辺地指定地域についての考え方を聞きました。

回答は次の通りです。 まず、提案した購入者の方へのアンケート調査の実施については、土地開発公社理事會に於いて充分検討したい旨の回答でした。又、新規住宅団地造成等についても理事会で検討するとの回答でした。低価格で村営住宅を提供する事が可能かどうかについては、まずは役場職員内で補助金制度において対応できるか検討したいとの回答でした。



村道の維持管理体制

上條俊策

問 総延長 約131km・357路線の村道の整備について、春・秋の職員の点検と地区・個人等の要望により、修繕・整備がなされていると思いますが、各所に不備の箇所が見受けられるので、私、議員としても徹底して全村を回り一斉点検を実施したいと考えています。その際、役場担当者と同様に不備箇所のチェックを効率よくすすめて、速やかに補修工事に対応して頂きたいと思いますが、如何でしょうか、又、本年度の修繕工事予算は600万円・簡易修繕材料代60万円と聞いていますが、修繕費用が予算オーバーとなった場合、財政上、補正予算はいくら位まで見込められるでしょうか、又、村道点検に合わせ県道・水路・街路灯等環境チェックもしたいと考えますが如何でしょうか。

上條産業振興課長 現状のチェック体制は議員の言う通りで、役場職員だけではパトロールに時間がかかり中々手の回らない事もある。質問の通り議員の要請があれば、是非とも同行パトロールに協

力願いたい。又予算については、チェック結果規模により検討・対応して行きたい。

朝日のある村音楽祭は

問 平成24年から3年間、村民に入場料半額補助という事で、500万円の予算を組んで実行されてきた朝日のある村音楽祭は、村長の強い思い入れがあったように記憶しています。今年は開催するのか、しないのか、これまでの経過・内容の説明と村長のご意向をお伺い致します。

村長 結論から言いますと今年開催がありませんが、当朝日村のイメージアップと、村民にとっても一流アーティストの生演奏が鑑賞できます事は文化の高い村づくりに・村民にうるおいのある村づくりに役立つものと期待をし継続してゆく事に強い思いを持っていて。テレビ局・大口スポンサーに協力要請をしてきている。今後、十分に検討・計画してゆきたい。



村長の政治姿勢について

齊藤勝則

問 村長の三期目のスタートにあたり、私は三つのことについてお考えを聞きたい。①私は今の安倍政権のすすめる戦争立法の強引な国会での成立は、若者を戦場へ送り殺し殺されることになり絶対反対だが、この国の方針に、村長としてどのように対応していくのか。②庁舎は身の丈で、現施設も有効に利用し、しかも多目的機能であってほしいが、最小の費用で最大の効果が出るように願いたい。おおよその予算規模を聞きたい。③福祉の問題で、国は介護保険、国民健康保険の重い任務を地方にまかせようとしているが、村は弱い立場の人に負担軽減をどのように進めていくのか。

村長・課長 ①安全保障関連法案、国勢の場で充分審議し、国民合意の上で進めてもらいたい。②基本構想策定中で、敷地は9,000㎡、建物2,000㎡位か。予算は10億円を見込んでいる。財源は庁舎基金、財調基金、その他を考えている。③18歳迄の医療費無料化の対象者は160名です。国保、介保の安定の為に、かたくりの里とも相談しやっけていき

たい。又、認知症については相談員をおいて対応していきたい。高齢者の皆さんの生涯づくり、生活困窮者についても、又各障害者団体についてもきめ細かい対応を村独自でもしていきたい。

鉢盛山登山と三俣地域の活性化

問 当村には幾つかの名所旧跡もあり、農業立村と観光立村の村だと考えています。今回は観光面で質問したいと思います。この地域の施設利用と鉢盛登山道の現状と三俣地域のセラピー基地化などの話を聞いているが、現状と今後の利用促進についてどのようにするのか聞きたい。

課長 整備は6月にボランティア等で行い、7月には一般にも開山していく予定であります。セラピー基地7箇所、セラピーロード3箇所、計10箇所が県内にあり、当村も医療関係とも相談し、一定の基準をみたせば推進したい。もくもく館は体験指導を進めたり、スキー場はドックランをコロナシムはバーベキュー場として利用進める予定。コテージも多くの人に利用してもらいたい。



人口確保対策及び産業・観光の活力 支援について

上條昭三

問 4月の村長選挙のときの調査で、朝日村民が行政に期待する施策の第1位が人口確保対策でした。村長も人口確保対策は良くやっていると実績も上がっていると思います。よそからの移住者を増やして人口を確保することも大切ですが、人口確保対策に未婚者に結婚してもらおう婚活支援も大切だと思います。

村長 人口確保対策は国、地方ともに大きな課題であり当村でも喫緊の重要課題であります。国は昨年まち、ひと、しごと創生法を制定し、国、地方は人口ビジョンと総合戦略を策定して推進するようとしていきます。人口減少社会の大きな要因は成人の未婚者の増加でございます。婚活支援はプライバシー問題もあり行政主導は敬遠されているので民の活力に期待している。村内有志の婚活支援グループ、しあわせ信州・朝日には一定の評価が出来ます。当村では未婚者の結婚が重要なことは心得ている、婚活支援は人口ビジョンの根幹に関わる課題なのでどのような支援が出来るか検討する。

問 プレミアム商品券は好評のよ

うで村長は継続を考えているようですが、今回と同じ条件で出来るのかまた国の補助は有るのか教えてください。

村長 プレミアム商品券の継続については国の経済活性化への補助支援が今回かぎりと聞いている。9月までの結果で村民に好評で、商業が活性化するようにあれば村独自で継続しても良いかと考える。

問 朝日村に観光協会を設立し観光に力を入れていくお考えはありませんか。

村長 観光協会の設立について、村内の観光施設は点としては立派なものがあるが線としては結ばれていない。また行政サイドではPRも今いちである。今定例会に商工会への補助金を提案してありますが、観光分野において商工会を中心にJAも参加した観光の窓口又は観光協会の設立に期待する。尚この種のもは官よりも民の感覚と言われ、民のノウハウの活動により朝日村の良さ、魅力が発信されれば村のイメージアップにつながり朝日村総合戦略の一翼を担えるものと捉えている。



人口減少対策・朝日村の魅力 発信について

北村直樹

問 地方は近年、人口減少・少子高齢化がどんどん加速しております。特に若年人口の減少は、地方経済の活力を奪い、高齢化を加速させる一番の要因であり地方においては悪循環を招いております。国立社会保険人口問題研究所の推移値によると、朝日村の人口、約4,700人が2060年には約2,400人になることが予想されている。今の朝日村の村民は45年後には半分になってしまう。この事に対し、私は強い危機感を覚えるをえませんが。早急に人口拡大対策を講じる必要があると感じております。

答弁 人口急減の対応は国・地方が早急に対応すべき問題である。当村では、若い子育て世帯の転入に視点を置き、3歳から5歳児の保育料の無料化・児童医療福祉給付の拡大・新たな出産祝金の給付・空き家対策等、村の実状であった政策をし、人口拡大を図っている。本年度は人口ビジョン・地域総合戦略を策定し、村民の皆様の意見を聞きながら、具体的な政策を作っていく予定。

問 なぜ、地方から都会へ人口が流れてしまっているのか？私は以前、東京の会計事務所で税理士業の職についており、仕事の関係上、多くの社長様や従業員の皆様と対話をする機会があった。出身地を聞くと地方出身者が多く、上京の理由は仕事・職でありました。又地方へ帰郷したくとも【仕事・職】に対しての

不安があり、多くの若年は帰郷を断念している。一方で都会住民はどうか？内閣府の調査によれば20代・40代で地方移住を考える方は実に50%を超えている。地方移住で重視する内容は「教育医療福祉の利便性が高いこと・居住に必要な家屋や土地が安く得られる」との回答があった。その声は朝日村において、すべてを叶えられることができる状況である。（保育料の無料化かたくりの里の改築による施設充実・向陽台団地の土地開発等。）あとは地元での雇用創造や企業誘致に力を入れ職の確保を図ること。そしてこの素晴らしい条件の朝日村をいかにして、県外特に都会に発信し、人口を呼び込むのか？この2つの課題に当村はどう対応するのか？

答弁 企業誘致については当村の自主財源の確保・雇用創造につながるため、これまで村の重要課題として取り組んできた。職の創造・企業誘致は地方創生の重要課題であるので、当村では地域総合戦略として、村民の皆様の意見を聞き、改めて検討していく。県外への発信については、HP・フェイスブックによる情報発信・松本広域連合や日本アルプス観光連盟観光キャンペーン・田舎暮らし情報紙の掲載に取り組んできた。又、東京銀座長野にて移住・定住・バンフレットを置きPRしている。今後は銀座長野のイベント空間を利用して村のPRイベントを検討していく。



**村民の声に対する当局の進め方
国際感覚あふれる子供育成に、英語教育強化を**

小林弘幸

問 村民アンケートによると、くらの満足度は大半の住民が普通と回答しています。しかし、改善要望を出しているが役場から返事が無いと不満の声も聞きます。村民の声は、どの様に把握し、管理されているのか。

回答 上條総務課長 村民の声の把握は、・村長出前村政・村民相談室・インターネットの村長メール・各課ホットラインがあり、住民生活に係る道路・水路・街灯等は区長を通して要望を頂いている。要望は担当課が把握し、対応を協議し、要望者への回答は業務処理基準により行っている。村長への要望は村長が内容を確認し原則2週間以内に回答する事としているが、回答できない場合はその旨を伝え更に1週間以内に回答する様にしている。

現状の仕事のルールは分かっているが、見える管理を行って頂きたいと思えます。

問 現在の社会生活における重要項目の一つに、国際化が挙げられ避け

て通る事は出来ません。その対応策に国際感覚にあふれた子供支援が重要です。朝日村における保育園・小学校の英語教育強化策を望みます。

回答 柳沢教育長 保育園において、昨年初めて外国人講師を招いて国際交流を実施した。年3回半日、英語と親しみを持てる様に、絵本の読み聞かせ・ゲーム・英語劇を行い、今年も計画している。小学校に於いては、日本人の外国語指導助手を村費で雇い、1・2年生は年間10時間、3・4年生は年間20時間、5・6年生は年間35時間の英語のみでの授業を行っている。国の指導要領では5・6年生が対象だが、朝日では小学校の裁量で1〜4年生も授業を行っており県下でも多い時間を割いている。教育委員会等でも英語力UPは課題として捉えており、方策をどうするか検討して、重点課題として取り組んで行きたい。

英語教育は一朝一夕では身に付かないので、長い取り組みをお願いしたいと思います。



村長の政治姿勢と地域統合戦略について

塩原智恵美

問 ①先の選挙で有権者数に対する村長への投票の割合を調べたところ44.2%でした。この数字をどう受け止めますか。②残り56%（反対又は棄権者）と村長との合意形成はどのように考えていますか。

村長 ①公職選挙法による民主主義の理論は参政権である。立候補者の公約にもとづき、有権者が選び投票されるものである。投票総数に対する私の得票の割合は61.3%であり信任いただいたと理解している。②従って選挙公約実現が私を選んだ村民の為という考えで村政を進めていく。

地域総合戦略について
問 ①国家プロジェクトとして今年から始まっている地域総合戦略（人口減少と地域経済縮少の克服を図るもの）についてお伺いします。国立社会保障人口問題研究所によると2060年の朝日村は3000人位に留まると予測しております。人口減少の村づくりに向けて総合戦略はどんな計画にしますか。②村の後期基本計画（H26策定）と総合戦略との整合性

はどうしますか。③村長公約の総合審議会と総合戦略の中で位置付けられた有識者会議はどのような違いがありますか。④2060年の人口減少問題という大きな課題に、全村を挙げてどのように問題意識の共有化を図りますか。

村長 ①人口ビジョン策定には人口動向の分析をし、将来見通しを立て、その上で客観的指標を設定していくが、人口確保策は既に取り組んでおり、公約についても総合戦略の一翼を担っている。②総合戦略はこれまで取り組んできた第5次総合計画と重複しているがこれから策定する中で整合性を図りながら状況によっては見直しもある。③総合審議会については、創生法に基づく有識者会議と基本的に同じ。有識者会議で求めている構成メンバーの不足については補充対応する。④大きな課題であるため総合審議会でも検討するが、村民と直接対話できる出前村政を継続して周知を図る。

尚、地方総合戦略は私のマニフェストであり今後も勉強して引き続き取り組んでいきます。



用水路の計画的整備について

林 邦宏

問 3月の針尾下組の深夜住宅火災、4月御道開渡の巾の小火、被災されました皆様には心からお見舞いを申し上げます。長時間住宅の消火活動に携わった消防団員の皆様お疲れさまでした。出動した分団や広域消防署の消防車が長時間消火放水が出来たのも針尾用水路の豊富な水量ではなかったか、と思われまます。御道開渡、巾の小火も春の乾燥期で、小火を発見された地域住民が気転を効かせて水路の水量を増量させ消火活動を円滑にし、大規模山火事に至らぬよう尽力されたと聞き及んでおります。嘗ての用水路は、生活水、田用水が主流でしたが今日では火災の際は消火水源として機能を発揮する防火用水路と成り、機能維持には流域住民の日頃の管理が欠かせず、特に河川からの取水箇所管理は近年のゲリラ豪雨などに因る影響が著しい、ゴミの引っ掛かり河床の浸食、水路の土砂閉塞などが発生して復旧には甚大な重労働作業が余儀無くされ、高齢化時代を迎え取水箇所の整備事業が要望されています。①舟ヶ沢からの御道開

渡地区取水箇所②外山沢川から西洗馬区への取水箇所③内山沢川の高見用水路の取水箇所
整備計画について村長のお考えをお聞かせ下さい。

上條産業振興課長 舟ヶ沢の取水箇所は舟ヶ沢1号橋上流で道路の護岸からゲートのハンドル操作ができる、外山沢川の取水箇所は林道沿いにある護岸からゲートのハンドル操作ができるので、取水系統の整備はされておりこの様な取水構造は村内各所に有り整備の必要性は確認できなくそれぞれの河川からの直接取水方式であるから大水により土砂の流入は有ると考えられるので水利関係者による土砂の流入防止対策が執られ関係者の水路として管理されている、村では災害で河床の低下やゲートの損傷等については対応する。内山沢取水箇所については西洗馬区から要望が出ている整備で今迄、簡易的な整備が実施されただけで、取水を容易にする整備は国の補助事業を活用し今年の整備計画に組み入れるが現時点では国からの内定補助は要望事業費の1/4であるので関係者と突き合わせをして対応して行く。

議会構成及び関係委員会・団体における役職

(任期：H27.5.15～H29.4.30)

◎委員長 ○副委員長

議会構成	正副議長	議長：清沢 正毅 副議長：小林 弘幸
	議会運営委員会(4名)	◎齊藤 勝則 ○林 邦宏 上條 昭三、小林 弘幸
	総務産業常任委員会(5名)	◎上條 昭三 ○塩原智恵美 中村 賢郎、北村 直樹、清沢 正毅
	社会文教常任委員会(5名)	◎林 邦宏 ○高橋 廣美 上條 俊策、齊藤 勝則、小林 弘幸
	監査委員(1名)	高橋 廣美(任期4年)
	議会だより編集委員会(6名)	発行責任者：清沢 正毅 ◎小林 弘幸 ○塩原智恵美 上條 昭三、中村 賢郎、北村 直樹 写真担当：林 邦宏
議会活性化委員会(5名)	◎北村 直樹 ○小林 弘幸 ○塩原智恵美 上條 昭三、清沢 正毅	

広域連合及び一部事務組合	松本広域連合議会(1名)	議員：清沢 正毅
	松塩地区広域施設組合議会(2名)	議員：清沢 正毅、林 邦宏
	松本市・山形村・朝日村中学校組合議会(6名)	副議長：清沢 正毅 議員：林 邦宏、高橋 廣美、上條 俊策、齊藤 勝則 小林 弘幸
	松塩木曾老人福祉施設組合議会(1名)	議員：小林 弘幸

議会議決が必要な事項を 審議する委員会等	朝日村総合審議会(2名)	上條 昭三、林 邦宏
	朝日村振興計画審議会(4名)	清沢 正毅、小林 弘幸、上條 昭三、林 邦宏
	朝日村情報連絡施設管理運営審議会(3名)	清沢 正毅、上條 昭三、林 邦宏
	商工業振興審議会(5名)	清沢 正毅、上條 昭三、塩原智恵美、中村 賢郎 北村 直樹
	国土利用計画策定委員会(1名)	清沢 正毅
	朝日村公の施設指定管理者選定審査会(5名)	清沢 正毅、上條 昭三、塩原智恵美、中村 賢郎 北村 直樹

事業推進のための意見徴収団体	朝日村農業振興地域整備促進協議会(3名)	清沢 正毅、上條 昭三、塩原智恵美
	朝日村営農支援センター運営委員会(5名)	○清沢 正毅、参与:上條 昭三、塩原智恵美、中村 賢郎 北村 直樹
	朝日村健康村推進協議会(5名)	林 邦宏、高橋 廣美、上條 俊策、齊藤 勝則 小林 弘幸
	朝日村鳥獣被害防止対策協議会(3名)	清沢 正毅、上條 昭三、塩原智恵美
	風食防止対策協議会(2名)	上條 昭三、塩原智恵美
	朝日村地域公共交通協議会(4名)	清沢 正毅、小林 弘幸、上條 昭三、林 邦宏
	朝日村新庁舎建設委員会(5名)	清沢 正毅、上條 昭三、塩原智恵美、中村 賢郎 北村 直樹
	朝日村かたくりの里建設委員会(2名)	◎中村 賢郎、小林 弘幸
	朝日村農業再生協議会(6名)	清沢 正毅、小林 弘幸、上條 昭三、塩原智恵美 中村 賢郎、北村 直樹

対外的な団体	篠ノ井線松本地域活性化協議会(1名)	理事:清沢 正毅
	地域高規格道路松本糸魚川道路建設促進期成同盟会(1名)	理事:清沢 正毅
	地域高規格道路松本糸魚川道路長野県側ルート建設促進協議会(1名)	理事:清沢 正毅
	中部縦貫自動車道(松本~中の湯間道路)建設・国道158号整備促進期成同盟会(1名)	理事:清沢 正毅
	北陸新幹線新駅誘致期成同盟会(1名)	理事:清沢 正毅
	塩尻・朝日防犯協会連合会(1名)	顧問:清沢 正毅
	朝日村下水道処理等の運転管理に関する朝日村・松本市協議会(4名)	清沢 正毅、小林 弘幸、上條 昭三、塩原智恵美
	県道新田松本・土合松本・松本空港線整備促進期成同盟会(4名)	理事:清沢 正毅、小林 弘幸、上條 昭三、塩原智恵美
	奈良井川水系河川改良促進期成同盟会(1名)	理事:清沢 正毅
	野俣林道愛護会(6名)	清沢 正毅、小林 弘幸、上條 昭三、塩原智恵美 中村 賢郎、北村 直樹
朝日村社会福祉協議会(1名)	評議員:林 邦宏	
	朝日村土地開発公社(5名)	副理事長:上條 昭三 理事:塩原智恵美、中村 賢郎、北村 直樹、清沢 正毅

啓発を主とした 団体	朝日村差別をなくし人権を擁護する審議会(1名)	清沢 正毅
	朝日村差別をなくし人権を擁護する推進協議会(10名)	副会長:清沢 正毅、他全議員
	朝日村防犯協会(2名)	副会長:清沢 正毅 理事:小林 弘幸
	朝日村交通安全推進協議会(10名)	全議員

法律で規定されている委員会	民生委員推薦会(2名)	委員:都度決める
---------------	-------------	----------

村民の 声

災害時の避難場所

当西洗馬地区は9地区約400戸が居住しております。

上組地区および三ヶ組地区は山際のため、鳥獣防止柵が完備され管理を委ねておりますが、最近、猪が柵の下を掘り出沒するとのことで、頭を悩ませております。

近年、自然災害の発生が目立ちます。御嶽山、浅間山の噴火等が県内ではあり、九州では豪雨で平年の3倍もの雨が降っており、気象の変動が気になります。当地区もその様なことになれば災害が起こらないとはいえ、西洗馬公民館の耐震強度が0.7以上に対し0.41とのことで、避難拠点としての使用には不安があります。中組バイパス開通の時期に合わせて移転新築を検討してはと思います。村産材利用により補助金を受けられればと考えております。

先日、山形消防署より公民館の防火に関する指摘があり、非常警報設備、自動火災報知設備の設置を指導され、2～3年待ってもらうようお願いをしました。このような事から、区運営委員会と村議の皆さんとの検討により区民の協力の下、1日でも早い西洗馬公民館の建設が望まれます。

西洗馬区長 羽多野 勝美



羽多野 勝美さん

無投票当選で新たに新米議員5名が加わり朝日村議会がスタートした。新人として、臨時議会・6月定例議会と過ぎ、やっと1サイクルを廻すことが出来たが、議員としての出来栄えには自信が持てない。先輩議員の先導の下、やっと議会を乗り切った感が強い。

未来の朝日村への指針である、「朝日村人口ビジョン」「朝日村まち・ひと・しごと創生総合戦略」作成に参画させて頂き、村民の声を反映してこそ出来栄

編集後記

え評価の対象となり得る。そして、議会だよりも議会改革の目玉として誕生し、4年16号を数えて来た。更なる改革を求め、引続き17号以降も誕生の初心を忘れずに、村民の皆さんに読んで頂ける内容を企画して行きたい。

(小林)



議会事務局の高山義教でございます。よろしくお願ひ申しあげます。

議会活動日誌

4月	活動内容
26	日 議員当選証書付与式
5月	活動内容
10	日 朝日村長寿を祝う会
12	火 議員打合せ会
15	金 第2回臨時議会〈初議会〉
17	日 朝日村消防団総合訓練
18	月 議員研修会
19	火 議員研修会
22	金 町村議会初当選議員研修会〈安曇野市〉
25	月 村有財産譲与契約調印式 引渡し式
26	火 全国正副議長研修会〈東京〉
27	水 同上
28	木 議会運営委員会
6月	活動内容
3	水 朝日村下水道処理場運転管理協議会〈山形村〉
9	火 第2回朝日村議会定例会開会 本会議、全員協議会
15	月 総務産業・社会文教常任委員会
16	火 社会文教常任委員会
19	水 本会議・一般質問
23	火 本会議・全員協議会、閉会、行政視察〈村内〉
24	水 かたくりの里起工式、安全協会総会 防犯協会総会
26	金 朝日小音楽会
7月	活動内容
1	水 朝日山形議会議員研修会
3	金 議会草刈ボランティア
5	日 松本消防協会ポンプ操法ラッパ吹奏大会
6	月 議会だより編集委員会
7	火 鉢盛中学組合議会7月臨時会
9	水 鉢盛中学支部懇談会
14	火 全員協議会
17	金 議会活性化委員会
22	水 松塩筑木曾老人福祉施設組合臨時会〈塩尻〉
23	木 長野県町村議員研修会〈松本〉
26	日 鎖川河川愛護会支障木除去作業

議員による環境整備活動が実施されました

去る7月3日議員による環境整備活動の一環で中俣沢せせらぎ公園の草刈ボランティアを行いました。朝方の雨も10時ごろには上がり作業のし易い曇り空の下、午後2時から10人の議員全員が参加して2時間ほど刈払機で草刈をしました。

朝日村の新しいパンフレットのキャッチフレーズは「きれいな田舎を満喫できる村」です。公園美化活動のボランティアをして少しでもきれいな田舎作りに協力できればと思います、皆で草刈にはげみました。